

『改訂第3版 地理B 統計・データの読み方が面白いほどわかる本』正誤表

弊社刊『改訂第3版 地理B 統計・データの読み方が面白いほどわかる本』の記述につき誤りがございました。
お詫びとともに、訂正させていただきます。

			誤	正																																
P21	関連知識	4行目	先進地域のヨーロッパや北アフリカでは被害額が多くなるのに対して、	先進地域のヨーロッパや北ア メ リカでは被害額が多くなるのに対して、																																
P36	例題		トウモロコシ,大豆について	トウモロコシ,大豆の 生産 について																																
P37	資料で確認！	トウモロコシ の貿易 表内	<table><tr><th>輸出</th><th>万トン (%)</th><th>輸入</th><th>万トン (%)</th></tr><tr><td>ブラジル</td><td>5,304 (32.9)</td><td>日本</td><td>1,534 (9.8)</td></tr><tr><td>アメリカ合衆国</td><td>2,927 (18.1)</td><td>韓国</td><td>1,453 (9.3)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>メキシコ</td><td>932 (5.9)</td></tr></table>	輸出	万トン (%)	輸入	万トン (%)	ブラジル	5,304 (32.9)	日本	1,534 (9.8)	アメリカ合衆国	2,927 (18.1)	韓国	1,453 (9.3)			メキシコ	932 (5.9)	<table><tr><th>輸出</th><th>万トン (%)</th><th>輸入</th><th>万トン (%)</th></tr><tr><td>アメリカ合衆国</td><td>5,304 (32.9)</td><td>メキシコ</td><td>1,534 (9.8)</td></tr><tr><td>ブラジル</td><td>2,927 (18.1)</td><td>日本</td><td>1,453 (9.3)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>韓国</td><td>932 (5.9)</td></tr></table>	輸出	万トン (%)	輸入	万トン (%)	アメリカ合衆国	5,304 (32.9)	メキシコ	1,534 (9.8)	ブラジル	2,927 (18.1)	日本	1,453 (9.3)			韓国	932 (5.9)
輸出	万トン (%)	輸入	万トン (%)																																	
ブラジル	5,304 (32.9)	日本	1,534 (9.8)																																	
アメリカ合衆国	2,927 (18.1)	韓国	1,453 (9.3)																																	
		メキシコ	932 (5.9)																																	
輸出	万トン (%)	輸入	万トン (%)																																	
アメリカ合衆国	5,304 (32.9)	メキシコ	1,534 (9.8)																																	
ブラジル	2,927 (18.1)	日本	1,453 (9.3)																																	
		韓国	932 (5.9)																																	
P72	POINT		ノルウェーは,水力発電の割合が約 6 割と高い。	ノルウェーは,水力発電の割合が約 9 割と高い。																																
P89	資料で確認！																																			
P112	例題	表内 2020 年	日本 : 128,933	メキシコ : 128,933																																
P112	目のつけどころ	表内 2020 年	日本 : 128,933	メキシコ : 128,933																																
P120	例題 目のつけどころ	図②																																		
P120	例題 目のつけどころ	図④																																		
P149	資料で確認！	図内	<table><tr><th>地域</th><th>国名</th><th>1950</th><th>1970</th><th>1990</th><th>2010</th><th>2020</th></tr><tr><td>ヨーロッパ</td><td>スウェーデン</td><td>65.7</td><td>81.0</td><td>83.1</td><td>85.1</td><td>67.4</td></tr></table>	地域	国名	1950	1970	1990	2010	2020	ヨーロッパ	スウェーデン	65.7	81.0	83.1	85.1	67.4	<table><tr><th>地域</th><th>国名</th><th>1950</th><th>1970</th><th>1990</th><th>2010</th><th>2020</th></tr><tr><td>ヨーロッパ</td><td>スウェーデン</td><td>65.7</td><td>81.0</td><td>83.1</td><td>85.1</td><td>88.0</td></tr></table>	地域	国名	1950	1970	1990	2010	2020	ヨーロッパ	スウェーデン	65.7	81.0	83.1	85.1	88.0				
地域	国名	1950	1970	1990	2010	2020																														
ヨーロッパ	スウェーデン	65.7	81.0	83.1	85.1	67.4																														
地域	国名	1950	1970	1990	2010	2020																														
ヨーロッパ	スウェーデン	65.7	81.0	83.1	85.1	88.0																														
P175	解答②	解説	③・④のうち鉄道貨物輸送の少ない④がインドで、③がブラジル。	③・④のうち鉄道貨物輸送の少ない④が ブラジル で、③が インド 。																																
P187	解答②	解説	残ったシが工業国のイスラエルとなる。	残った ス が工業国のイスラエルとなる。																																
P204	解答②	解説	1次産品の割合が高い①が 1973 年、③が 2018 年となる。	1次産品の割合が高い ③ が 1973 年、 ① が 2018 年となる。																																

			誤	正
P26	column 1	6 行目	流出量が最も小さな④ が，図中でも流域の小さなライン川とすぐにわかります（ヨーロッパは思っているより小さいですよ！）。4 河川のなかでは高緯度の温帯を流れ，気温も低いので降水量も少なくなります。流域の降水量の偏りは，f 型なのでどの月が多くなるかは想像しにくいですね（融雪水が流れ込む春に多くなり 3 月が最大です）。 次に，流量が最大となる月が 1 月頃（北半球の冬・南半球の夏）か 7 月頃（北半球の夏・南半球の冬）かで，① ・③ と② の 2 つに分け，南半球の河川はオレンジ川のみなので，夏（1 月頃）に雨季がある（w 型）② がオレンジ川となります。 ① と③ の判別は簡単ですね。モンスーンアジアを流れるメコン川はモンスーン（季節風）の影響を受けて降水量も多くなり，流出量が最も多い① です。ナイル川といえば世界最長の河川ですが，サハラ砂漠を貫流する外来河川なので，流出量が少ない③ です。	河川の流出高と流量が最大となる月というデータを用いた問題ですが，図から読み取れる流域（水を集めてくる範囲）の大きさと熱帯収束帯の季節による移動に、流域の大部分が占める気候（いわゆる地図帳に載っているケッペンの気候区分の図）を重ね合わせれば、正解にたどり着けます（ちなみに試行調査の正答率は28.3%と低めでした…）。 表中の流出高という数値ですが，これは「流域面積で除し、水深に換算したもの」とあるので、単位面積当たりの流量です。いわゆるどれだけの水が流れているのか、というボリュームです。湿潤地域を流域に持つ河川では多くなり、乾燥地域を流域に持つでは河川では少なくなります。 ナイル川は、世界最長の河川ですが、サハラ砂漠を貫流する外来河川なので、流出高は少なくなるはずで、③ ・④のいずれかになります。北半球を流れるナイル川は、図中の赤道低圧帯が北上してくることからもわかるように、7月に降水が多くなる（w型）ので、③が該当します。 そのほかについてみると、ナイル川と同じく北半球の夏季（9 月）に流量が多くなり、流出高が多い①はメコン川です。インドシナ半島はモンスーンの影響で、大半が雨季と乾季が明瞭なサバナ気候（Aw）となるので、夏の海からの湿潤なモンスーンの影響が反映されます。残ったライン川とオレンジ川の判定は、流出高の多い少ないで判定しましょう。ナイル川と同じように流出高が少なくなる④は、南回帰線付近の乾燥地域を流域に持つオレンジ川です。西岸海洋性気候地域を流れるライン川は流量が多くなり②です（流域の降水量の偏りは、f 型なのでどの月が多くなるかは想像しにくいですね）。